



学生入試広報スタッフF-lens インタビュー企画

2023 Spring 特別号

昨年12月に実習を終えたばかりの
課程修了生を対象に、課程の
感想インタビューを行いました!

日本語教員 養成課程 受講生 interview!



日本語教員は
2024年4月から
新たな国家資格の
制度が始まります

日本語教員とは「日本語を教える先生」のこと

日本語教員は 藤女子大学で取得できる資格の1つです

藤女子大学 日本語教員養成課程は 昨年2022年で20周年を迎えました!

※文学部(英語文化学科、日本語・日本文学科、文化総合学科)が対象です。

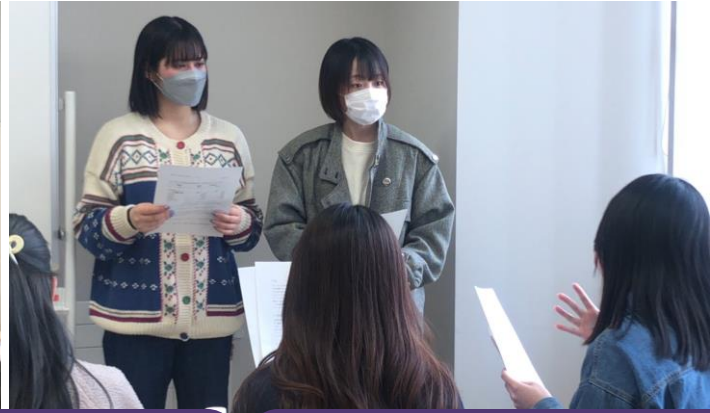
FUJI WOMEN'S UNIVERSITY

Q. 日本語教員養成課程は何を学べるの？

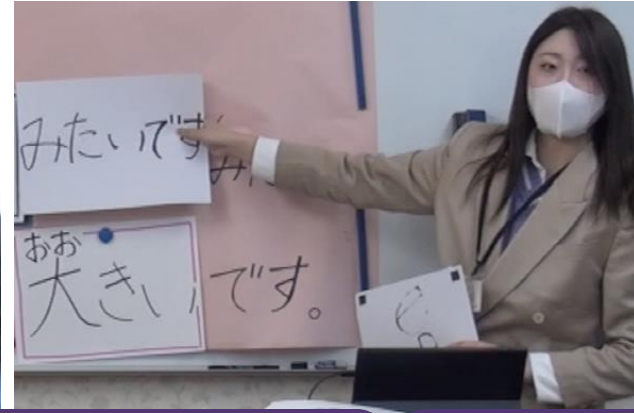
日本語の文法から始まり、外国人から見える日本、日本語の4技能教授法 など
日本の文化、言語としての日本語について 多角的な視点から学びを深めます



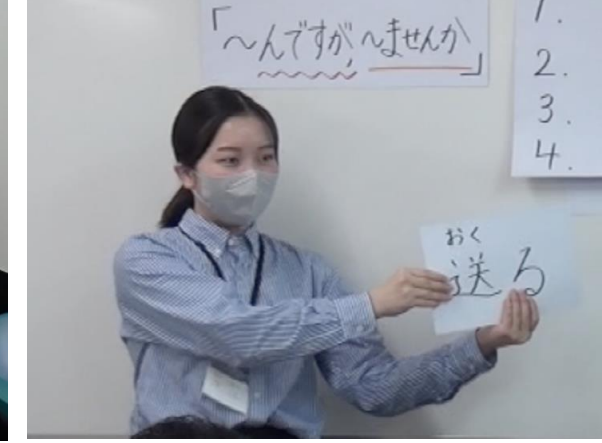
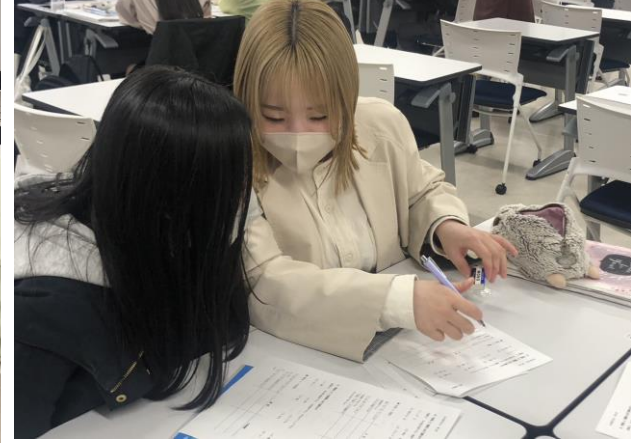
グループワークから課題発見・解決
能力、コミュニケーション能力向上



教える上で実際に起きる問題に
向き合い、文献調査や発表を行う



実習を通じて、教える難しさと
現代の多文化社会を体感できる



Q. 日本語教員養成課程を受講した理由

日本語教員養成課程を開講している大学は、北海道内で四校しかないため、せっかく藤女子大学に入学したのだから受けてみようと思ったから。

日本語・日本文学科 近現代文学専攻 (2021年入学)

高校生の頃、海外の人とかかわることのできる職業に興味があり、自分で調べた時に「日本語教員」という仕事があることを知り、興味を持ったことがきっかけです。藤女子大学入学後は、海外の人と関わりたいという友人ができ、彼女と一緒に日本語教員養成課程を受講することを決めました。彼女も私も、海外に日本が大好きな友人がおり、彼らのような日本を大好きな人に日本語や日本のことをもっと教えられたらカッコいいよね、と話をしたことを覚えています。

英語文化学科 (2021年入学)

日本語を教えることを通して、さまざまな国の生徒と関わることができるという部分がいいなと思いました。また、大学を卒業したあとの事も考えて、将来の選択肢を増やしたいという気持ちもあり、受講しました。

文化総合学科 心理学専攻 (2021年入学)

FUJI WOMEN'S UNIVERSITY

Q. 日本語教員養成課程で大変だったこと

実習で使用する教案作りが大変だった。

自分なりに頑張って作ったつもりでも、先生から添削がたくさん入って辛かったが、結果としてその添削のおかげで生徒の方に理解してもらえるような授業を行えたため良い経験になった。

日本語・日本文学科 近現代文学専攻 (2021年入学)

思っていたよりも学ぶことが多かったところです。例えば、色を表す言葉には「赤い・白い」のように形容詞のものと「ピンク・緑」のような名詞のものがあり、その二通りの表現の違いを考えるという授業が印象的でした。普段何気なく使っている日本語でも違いを説明することが出来ず、使用することと教えることは違うということを感じました。このような文法のほかにも、教授法やコミュニケーションの方法など様々な授業があり、新鮮で面白みを感じつつも、学習者に教えるためには本当に多くのことを学ばなければいけないという点で大変だなと思いました。

英語文化学科 (2021年入学)

実習中が一番大変でした。担当したクラスでは、遅刻をする学生、授業についていけない学生、意欲的でたくさん発言する学生など多種多様で、どうやって教えるべきかを常に考えながら授業を進めていました。しかし、学生たちの個性が良く発揮された時には、学生間で積極的に教え合ったり、お互いの発言から学び合っている様子を見ることができたので、非常に嬉しかったです。

日本語・日本文学科 古典文学専攻 (2021年入学)

Q. 日本語教員養成課程で身についたこと

授業の中で自分の考えを他の人と話し合う機会が多かったので、グループワークの際に、自分の考えを自分の言葉で相手に伝える力が身についたと思います。

他には、授業のなかで、外国人にとってわかりにくい日本語をやさしい日本語に直す練習や実習の教案作りをしました。例えば、長い文章で話すのではなく、文章を短い文に切って、順序立てて話すことで理解しやすくなるように心がけました。これらを通して日本語を勉強している人に伝わりやすい「やさしい日本語」で話すスキルが身につきました。

文化総合学科 心理学専攻(2021年入学)

日本語のネイティブではない方に対して、普段からわかりやすく教えるための「やさしい日本語」を意識するようになりました。アルバイト先に外国のお客様がいらしたことがあり、普段使う日本語をそのまま使用するのではなく、少し噛み砕いてわかりやすく伝えるよう努めたことがあります。お客様も理解してくださっていたようなので、今後もこのスキルを活かして日本語学習者や外国からの観光客とコミュニケーションを取っていかれたらと思います。

英語文化学科 (2021年入学)

日本の文化を改めて考えることで、他の国の文化への理解に繋がったことです。これまでは異文化に漠然とした違いを感じることはできませんでしたが、実際に自分が生活している中で日本独自の文化を考えることで、外国人の行動・言動に対し、疑問が浮かぶのではなく理解できるようになりました。

日本語・日本文学科 古典文学専攻 (2021年入学)



もっと詳しくinterview!

自分史から探る
日本語教員養成課程 × 私

episode1

—海外への強い憧れが原動力に—

日本語教員養成課程 × 英語文化学科

episode2

日常に溢れる日本語をとことん追求したい

日本語教員養成課程 × 日本語・日本文学科

Episode 1

—海外への強い憧れが原動力に— —海外への強い憧れが原動力に—

海外を初めて知った
小学生時代

イギリス人の
転校生と友達に

海外への憧れが強まった
中高生時代

洋画・洋楽に熱中
日本語教員を知る

毎日海外づくめの
大学生生活

英語文化学科で研究
日本語教員養成課程

1,2年生での話す中心の
授業の成果を感じました



英語文化学科 3年生
(2021~2022受講生)

塾講師として英語教育に奮闘

私は塾講師のアルバイトで、小・中学生向けに英語を教えています。日本語教員養成課程で学んだどんな人にもわかりやすい「やさしい日本語」を塾でも実践し、一人一人の進度に合わせて、時には学校で習う範囲より高いレベルの英語であっても、障壁なく勉強できるよう伝え方に工夫を凝らしながら授業を行っています。

旅先で英語力の向上を実感

大学2年生の秋、プライベートで京都旅行をしていたときに偶然外国人の男の子と電車に乗り合わせました。せっかくの機会と思い英語で話しかけてみたところ、男の子はオーストラリアから訪れていた9歳の少年で、これから父親と嵐山に行くところだと教えてくれました。大学での勉強が実を結んだように感じてとても嬉しかったです。

Episode 2

日常に溢れる日本語をとことん追求したい

生活のなかにある
日本語に興味津々

掲示物の日本語に
興味を持っていた

日本語教員養成課程で
自分の興味を勉強できた
1,2年生

日常生活の日本語を
考え続ける毎日

日本語研究に
没頭する3年生へ

近現代の日本語学を
研究するゼミに所属

日本語教員養成課程の学びは/
他の勉強にも繋がります



日本語・日本文学科 3年生
(2021~2022受講生)

人命救助に繋がった日本語の知識

飲食店でアルバイトをしていたある日、誤ってアルコールを飲んでしまった外国人のお客様がいました。突然の出来事でしたが、今の自分にできることを考え、お客様に「やさしい日本語」で対応しました。お客様のご希望で病院まで同行し、医師や看護師の方との会話の補助も行い、やさしい日本語の重要性を実感しました。

研究で自分の興味・関心に熱中

自分の興味・関心は複数の場面で繋がりががあります。日本語教員養成課程で学んできた「日本語文法」や「外国から見える日本」の知識と、日本語・日本文学科で学んできた「近現代の日本語学」の知識を掛け合わせ、自分が興味・関心を感じる日常の日本語について、研究を通して深く学んでいきたいです。